



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：大阪市政記者クラブ)

2015 年 9 月 7 日
公立大学法人大阪市立大学 広報室
Email : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学・大阪市博物館協会 包括連携協定企画

シンポジウム「大阪の縄文時代をさぐる -森の宮縄文人が語る環境とくらし-」を開催します

大阪市立大学と大阪市博物館協会、は、平成 27 年 10 月 31 日（土）に大阪歴史博物館において、シンポジウム「大阪の縄文時代をさぐる—森の宮縄文人が語る環境とくらし—」を開催します。

大阪平野にはかつて海の時代があり、縄文時代の中頃（5,000～4,000 年前）の上町台地は海に突き出た半島でした。1970 年代に上町台地の東側に当たる中央区「森の宮遺跡」で行われた発掘調査で、西日本最大級の縄文時代後期の貝塚・墓地が発見され注目を集めました。貝塚から見つかった貝や魚・哺乳類の骨からは、海の幸・山の幸を利用した縄文人の豊かなくらしぶりや、海から湖、そして陸へという大阪平野の変遷が明らかになっています。

今回のシンポジウムでは、当時の調査成果を再検討しつつ、考古学・人類学・動物学・生態学・地質学などさまざまな最新の研究から、森の宮縄文人のくらしぶりに迫ります。皆さまのご応募をお待ちしております。

記

1. 日 時：平成 27 年 10 月 31 日（土）13 時 00 分から 16 時 30 分

2. 会 場：大阪歴史博物館 4 階講堂

〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32

（地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・⑨号出口）

3. プログラム

【開会挨拶】13 時 00 分～13 時 05 分

【第 1 部 講演】

13 時 05 分～13 時 45 分

「森の宮遺跡と上町台地の縄文集落」 松尾 信裕（大阪歴史博物館）

13 時 45 分～14 時 25 分

「森の宮の人々と狩猟活動」 安部 みき子（大阪市立大学医学部医学研究科）

14 時 25 分～15 時 05 分

「縄文人のエコロジーとエコノミー」 瀬口 眞司（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

【第 2 部 ディスカッション】15 時 10 分～16 時 25 分

司 会：岸本 直文（大阪市立大学大学院文学研究科）

司会兼パネラー：大野 薫（大阪府立狭山池博物館）

パネラー：松尾 信裕・安部 みき子・瀬口 眞司・趙 哲済（大阪文化財研究所）・
（予定）石田 惣（大阪市立自然史博物館）

【閉会挨拶】 16 時 25 分～16 時 30 分

4. 定 員：250 名（事前申込が必要）

5. 参 加 費：300 円（資料代含む）

6. 申 込 方 法

往復はがきに、①住所、②氏名（ふりがな）、③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名を記入の上、下記宛先までお申し込みください。

＊参加申込された方の個人情報は、この事業に関する連絡のみに使用します。また、本人の同意なしに個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

【申込先・問い合わせ先】

〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32 大阪歴史博物館内
（公財）大阪市博物館協会「大阪の縄文時代をさぐる」係
TEL 06-6940-0569

【応募締切】平成 27 年 10 月 10 日（土）＊当日消印有効

＊1 枚のはがきに 1 名のみ記載可。重複応募不可。申込多数の場合は抽選となります。

7. 主 催 公立大学法人大阪市立大学・公益財団法人大阪市博物館協会

8. 取材について

当シンポジウムの取材をご希望の方は、事前に下記担当までご連絡ください。

（連絡先）公益財団法人大阪市博物館協会 総務部 事業企画課

電話番号：06-6940-0569 ファックス：06-6940-0551

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 学務企画課 地域貢献担当
担当：森川、中西

TEL：06-6605-3504 FAX：06-6605-3505

電子メール：shidai@ado.osaka-cu.ac.jp

シンポジウム

大阪の縄文時代をさぐる

—森の宮縄文人が語る環境とくらし—



縄文人の髪を飾った堅櫛



新潟県糸魚川付近産のヒスイ製勾玉

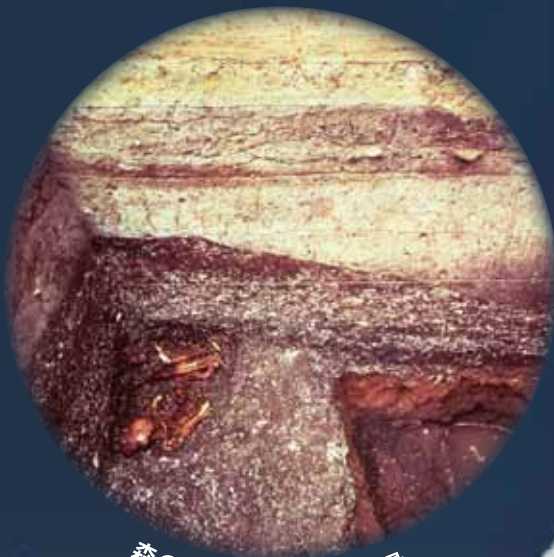


縄文土器深鉢（縄文時代後期：約4,000年前）

● Morinomiya



船の碇に用いられた石錘



森の宮遺跡の貝層と人骨

平成27年 **10月31日** (土) 13時～16時30分

大阪歴史博物館 4階講堂 定員250名 (事前申込制)

参加費 300円 (資料代含) 主催：公益財団法人大阪市博物館協会 公立大学法人大阪市立大学

ご参加には事前の申込が必要です

問い合わせ先 TEL: 06-6940-0569

【参加申込方法】往復はがきに、①住所、②氏名（ふりがな）、③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名を記入の上、下記宛先までお申し込みください。

【申込先】〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32 大阪歴史博物館内（公財）大阪市博物館協会「大阪の縄文時代をさぐる」係

【応募締切】平成27年10月10日(土) ※当日消印有効

※1枚のはがきに1名のみ記載可。重複応募不可。申込多数の場合は抽選となります。

※参加申込された方の個人情報は、この事業に関する連絡のみに使用します。また、本人の同意なしに個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

シンポジウム

大阪の縄文時代をさぐる

—森の宮縄文人が語る環境とくらし—

平成27年10月31日(土)13時～16時30分 大阪歴史博物館 4階講堂

大阪平野にはかつて海の時代があり、縄文時代の中ごろ(5,000～4,000年前)の上町台地は海に突き出た半島でした。1970年代に上町台地の東側に当たる中央区森の宮遺跡で行われた発掘調査で、西日本最大級の縄文時代後期の貝塚・墓地が発見され注目を集めました。貝塚から見つかった貝や魚・哺乳類の骨からは、海の幸・山の幸を利用した縄文人の豊かなくらしぶりや、海から湖、そして陸へという大阪平野の変遷が明らかになっています。今回のシンポジウムでは、当時の調査成果を再検討しつつ、考古学・人類学・動物学・生態学・地質学などさまざまな最新の研究から、森の宮の縄文人のくらしぶりに迫ります。

第1部 講演

1. 森の宮遺跡と上町台地の縄文集落

松尾 信裕 (大阪歴史博物館)

森の宮遺跡第3次・4次発掘調査から40年たった今、その発掘調査に携わった者として当時の調査成果を再確認しつつ、森の宮遺跡の再評価をします。出土した土器から貝塚の広がりや形成時期を確認し、森の宮遺跡周辺に見つかっている縄文時代の遺跡と比較して上町台地の縄文時代集落の分布や変遷などを考えます。

2. 森の宮の人々と狩猟活動

安部みき子 (大阪市立大学医学部医学研究科)

森の宮遺跡の貝塚には多数の人が埋葬され、日本では報告例のない下顎骨を加工した人骨が出土しました。また、大阪湾に面した本遺跡から出土する大型の獣骨の大半はシカとイノシシです。そこで上町台地に居住した森の宮の人々の特徴と狩猟活動を探ります。

3. 縄文人のエコロジーとエコノミー

瀬口眞司 (公益財団法人 滋賀県文化財保護協会)

およそ1万年前、人々の暮らしは移動生活から定住生活に変わり始め、本格的な縄文文化が開花しました。人類が定住するためには、自然の摂理を巧みに利用し、あるいは定住しやすい環境を創造していく必要がありました。その知恵と工夫の歴史について、近江を中心とした地下に眠る文化財から迫ります。

第2部 ディスカッション

司 会：岸本直文 (大阪市立大学大学院文学研究科)

パネラー：大野薫 (兼司会)・松尾信裕・安部みき子・

瀬口眞司・趙哲済・石田惣 (予定)

大野薫 (大阪府立狭山池博物館)

河内湾をとりまくように分布する縄文時代遺跡の中で、森の宮遺跡はどのような位置を占めるか。また、西日本各地の貝塚と比較したとき、森の宮貝塚はどのような特徴をもっているか、などについてお話しします。

趙哲済 (大阪文化財研究所)

森の宮の縄文人が「上町半島」の北や西の外湾で採取したと考えられてきた貝塚のマガキは、実は内湾のカキ礁から集められたらしい。当時の植生も交えて、遺跡周辺の地形や堆積環境の最新情報をお話しします。

石田惣 (大阪市立自然史博物館)

森の宮貝塚の層序は、汽水性のマガキ層から淡水性のシジミ層へと変遷しています。また割合は小さいが、内湾性の貝類も付随します。これらの種構成から、河内湾～河内湖の水質・底質環境と、漁ろう傾向について考察します。

森の宮遺跡の関連展示

特集展示 なにわの考古学 2015

10月21日(水)～12月27日(日)

大阪歴史博物館 8階特集展示室

平成26年度に大阪文化財研究所が行った大阪市内の発掘調査成果と調査報告書の成果から、重要な資料を選んで展示します。また、森の宮遺跡をはじめ、市内の縄文時代の主要な成果も紹介します。

森の宮遺跡展示室特別公開

10月31日(土) 10:00～11:30

森ノ宮ピロティホール遺跡展示室

縄文時代の人骨などが現地で見学できる展示室で、今回特別に一般公開されます。事前申し込みは不要。お問い合わせは(公財)大阪市博物館協会「大阪の縄文時代をさぐる」係まで TEL:06-6940-0569

シンポジウム会場のご案内



電車・バスでお越しの方

地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・⑨号出口

大阪市営バス「馬場町」バス停前



*大阪歴史博物館の常設展示(10階)、大阪市立自然史博物館本館第1展示室、大阪文化財研究所難波宮調査事務所資料展示室にも、森の宮遺跡の展示コーナーがあります。見学可能日時は、各ホームページでご確認ください。